

30. 高気圧酸素療法による皮膚血流量の変化

古野利夫 龍村俊樹
(富山医科薬科大学救急部)

【目的】当部ではこれまでに約500人の様々な疾患を持つ症例に対し、高圧酸素療法(以下HBO)を行ってきた。この中で症例により、熱感、冷感と体を感じる感覚が異なる場合があり、これはHBOにより体表面の血流量が変化するためと思われる。一般的には、HBOにより末梢血管抵抗が増大し、個々の臓器、組織においては血流量が減少することが知られている。そこで今回、レーザードップラー微小循環血流モニターを使用し、HBO前後での血流の変化、さらには血管拡張剤であるPGE1製剤の併用効果を検討した。

【方法】レーザードップラー血流計は、ムーア社製のMBF3Dで、これは一度に2部位の測定が可能となっている。23~25℃の室温で、患者をHBOの寝台上で安静仰臥位とし、両側の第1趾底側に円盤型プローベを装着する。血流量は、安定が得られてから2分間測定を行い、その平均値とした。PGE1製剤注入後、HBO終了後にも測定し、その変化を倍率で示し検討した。

【結果】41歳女性、突発性難聴で他に合併症はない。HBO前後で左右それぞれの血流量が0.45倍、0.22倍と減少し、通常の反応と思われた。58歳男性、ASOによる右下腿潰瘍の患者である。右腰部交感神経ブロック施行後にもかかわらず、右血流量が著明に低下していた。HBO後には、左右それぞれ1.21倍、1.55倍と増加し、潰瘍病変の治癒促進が期待された。69歳女性、脳梗塞による左半身麻痺の患者である。興味深いことに麻痺側の血流量の著明な低下がみられたが、HBOにて6.89倍の増加が得られた。35歳女性、多発性硬化症の患者である。HBOとPGE1製剤の併用療法を行っている。PGE1製剤注入後に血流量は4.50倍に増加、皮膚温も0.2℃上昇した。直ちにHBOを施行したが、終了後も血流量は保たれており、皮膚温も1.5℃の上昇がみられHBOとPGE1製剤の併用療法の有効性が示唆された。以上症例を追加し、報告する。

31. 肝切除後の肝不全に対し高圧酸素療法が有効であった1例

松田範子 恩田昌彦 森山雄吉 田中宣威
田尻 孝 金 徳栄 瀬谷知子

(日本医科大学第1外科)

慢性肝炎あるいは肝硬変症などの治療中に、高ビリルビン血症の改善がみられず、肝障害が急性増悪し、肝不全へ移行する症例が少なくない。私どもはこの様な症例に対し、高圧酸素療法(HBO)を試み、極めて有効であった症例を経験し本学会において報告してきた。今回は特に肝切除後、徐々に血清ビリルビン値が上昇し肝不全徴候が出現したが、HBOを施行することにより肝機能の改善を得た症例を経験したので報告する。

症例は、51歳男性。2カ月前より下血、肛門痛を主訴とし来院。注腸造影、大腸ファイバー検査により、Borrmann 2 typeの直腸癌と診断した。さらに超音波検査およびCTで肝S₆に孤立性の肝転移を認めた。術前生化学検査ではGOT:26, GPT:26, T-Bil:0.4, Alb:4.1, ICG:7.6で肝の予備能も充分と判断し、直腸切除術ならびに肝右葉切除を施行した。術後より徐々にT-Bilが上昇し、ステロイド剤の投与を行ったが改善がみられず、さらに倦怠感を訴え、NH₃値も130μg/dlに上昇し、術後肝不全傾向が出現した。そこで術後10日目よりHBOを3ATA, 2hrs, 1回/1日で連日7回施行した。HBO開始時6.5mg/dlであったT-Bilは7回終了時には1.7mg/dlに下がりGOT, GPTもT-Bilと同様な傾向で改善が認められた。またNH₃値も74μg/dlに低下し、肝機能の改善が得られ、以後順調に経過し84病日目に退院した。

以上のように、HBO開始直後より血清ビリルビン値、アンモニア値が徐々に低下するとともに、肝機能が改善され肝不全に移行することなく経過した症例を経験した。HBO療法は肝切除後にみられた高ビリルビン血症、肝機能障害に対しても、その治療に有効であるものと思われた。